

## **(5) 米政策改革の総合推進体制の整備**

米政策改革のスタートに当たり、農林水産大臣を本部長とする「米政策改革推進本部」を設置し、JAグループと連携した「現地アドバイザリー活動」の実施、米政策改革相談窓口の設置等を行うなど、総合推進体制を整備し、地方農政局、地方農政事務所を含めた米政策改革の趣旨の浸透、関連対策の周知に努めた。

## **2 政策ニーズに対応した統計の作成と利用の推進**

農林水産統計については、構造改革の推進等農林水産施策全般の改革と新たな展開方向に即し、多様な食料消費、農林水産業・食品産業の実態等を的確に把握するための統計調査を効率的・重点的に実施した。

- (ア) 多様な食料消費を把握するため、「地産地消」等の取組状況の実態を調査するとともに、家庭における食品使用及び食品の食べ残し・廃棄の調査を実施した。また、水産物の生産から小売に至る物流の全体像を把握した。
- (イ) 我が国農林業・農山村の基本構造とその変化の把握及び農林業施策の新たな展開方向に即して2005年農林業センサスにおいては、事業体調査は経営という視点で一元的に把握する調査体系、地域調査は農林業・農山村の有する多面的機能等を一体的に把握する調査体系へ見直したうえで調査を実施した。
- (ウ) 農業構造改革に向け、農業生産における多様な担い手の経営多角化の実態を把握するとともに、地域・営農類型ごとの農業経営の実態を把握した。
- (エ) バイオマス・ニッポン総合戦略や資源循環型農業の的確な推進に資するため、特殊肥料の生産方法、生産量等を把握した。
- (オ) 農林水産統計情報総合データベースを充実し、インターネットによる提供を促進した。

## **3 農林水産分野の情報化と電子政府の実現**

農山漁村地域における情報通信基盤の整備、情報技術を指導する人材としての普及員等の育成、電子タグを活用した新たな物流管理技術やトレーサビリティ・システムの開発等を推進した。

また、「電子政府構築計画」に基づき、国民の利便性の向上と行政運営の簡素化、効率化等を図るため、電子申請システムを24時間365日安定的に稼働させる環境を整備するなど、農林水産行政の情報化を推進した。

## **4 災害対策**

本年度は、台風が10個上陸（従来の最多台風上陸数は6個）したほか、相次ぐ地震発生や梅雨前線豪雨等により、農作物、農林水産業関係施設に大きな被害が発生した。特に、台風第15号、第16号、第18号では農作物に、台風第23号、新潟中越地震では農林水産業施設に大きな被害が発生した。

これらの災害に対応して、「農林水産省災害対策本部」（9月14日）、「農林水産省新潟

県中越地震災害対策本部」(10月24日)を設置し、被害状況の早期把握に努めるとともに、以下の措置を講じた。

#### (1) 災害復旧事業の早期実施

本年度発生した農林水産業施設災害に対して、農地・農業用施設、林地、林道、漁港等の災害復旧事業により早期復旧を実施した。

#### (2) 激甚災害指定

本年度発生した災害のうち以下の災害については、激甚災害に指定し、災害復旧事業等に対する地元負担の軽減を図った。

- ①「平成16年7月8日から同月21日までの間の豪雨による災害」(7月梅雨前線豪雨)
- ②「平成16年7月29日から8月6日までの間の暴風雨及び豪雨による災害」(台風第10・11号)
- ③「平成16年8月27日から同月31日までの間の豪雨及び暴雨風雨による災害」(台風第16号)
- ④「平成16年9月4日から同月8日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」(台風第18号)
- ⑤「平成16年8月17日から9月8日までの間の天災による災害」(台風第15・16・18号)
- ⑥「平成16年9月26日から同月30日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」(台風第21号)
- ⑦「平成16年10月18日から同月21日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」(台風第23号)
- ⑧「平成16年新潟県中越地震による災害」

#### (3) 共済金の早期かつ円滑な支払い

適切かつ迅速な損害評価の実施及び共済金の早期支払いについて、農業共済団体等を指導し、被災農家に対して水稻共済金の年内支払いを完了した。

#### (4) 被害農林漁業者の資金需要への対応

台風第15号、16号、18号を一括した形で「天災による被害農林漁業者等に対する資金の融通に関する暫定措置法」を発動し、被害を受けた農林漁業者に対して、所要の資金が円滑に融通されるよう必要な措置を講じた。また、被害農林漁業者に対する既貸付金の償還猶予等及び災害関係資金の円滑な融通が図られるよう関係金融機関を指導した。

#### (5) その他の対策

都道府県等を通じ、台風等の暴風雨による農作物等被害に対する技術指導を徹底した。また、被災農業者の就労機会確保の観点から、農業農村整備事業等について機動的執行等を行った。

## VII 施策を総合的かつ計画的に推進するための取組

### 1 政策評価

「行政機関が行う政策の評価に関する法律」に基づき、「農林水産省政策評価基本計画」等に即して、効果的かつ効率的な行政の推進、行政の説明責任の徹底を一層図るため、政策評価を引き続き積極的に推進した。

#### (1) 実績評価

農林水産省では、主要な農林水産行政分野のすべてを対象に、あらかじめ目標を設定し、定期的（1年ごと）にその目標に対する実績を測定する実績評価を行っている。

16年度は、15年度政策（59政策分野）について142の目標値を設定したうえで、実績評価を実施した。この結果、達成ランクでみると約7割が「A」、約2割が「B」、約1割が「C」となった。<sup>\*1</sup>

また、実績評価を補完するため、60の政策手段について政策手段別の評価を実施した。この結果、57の政策手段について、一定の改善・見直しの必要性を指摘した。

これらの評価結果を踏まえ、17年度予算概算要求等に当たっては、実績評価において達成度の低い政策分野の政策手段及び政策手段別評価において必要性の特に低い事業の廃止を含めて検討を行い、全政策分野について抜本的に見直しを行った。

#### (2) 総合評価

16年度は、食料・農業・農村基本計画の見直しに活用するため、「食料自給率目標の状況の検証」、「耕地利用率目標の状況の検証」及び「望ましい農業構造の確立の検証」の3課題について評価を実施した。また、「技術開発の経済的效果」及び「土地改良事業の効果」の2課題についても昨年度に引き続き実施した。

#### (3) 事業評価

農林水産関係の公共事業及び研究開発については、「行政機関が行う政策の評価に関する法律」において義務付けられた範囲を超えて事業評価を実施した。

公共事業については、事業の新規採択に当たり費用対効果分析等の手法により事前評価を実施した。また、事業採択後5年を経過した事点で事業継続中の地区等を対象<sup>\*2</sup>に、社会経済情勢の変化等の点検により期中の評価を実施し、事業計画を変更することとするなど必要な見直しを行った。さらに、事業完了後おおむね5年を経過した地区を対象に、効果の発現状況等の点検により完了後の評価を実施した。

次に、研究開発については、新たなプロジェクト研究課題等の決定に当たり事前評価を実施した。また、5年以上のプロジェクト研究課題等のうち16年度に対象となるもの<sup>\*</sup>について期中の評価を実施し、研究内容の変更を行うこととするなど必要な見直しを行った。さらに、16年度において研究を終了した課題について終了時の評価を実施した。

\*1 農林水産省の実績評価においては、目標に対する達成度合いに応じてランク付けを行うこととし、達成度90%以上をA、50%以上90%未満をB、50%未満をCとしている。

\*2 農林水産省所管の公共事業及び研究開発における期中の評価は、公共事業については事業実施地区について5年ごと、研究開発については2～4年ごとに実施することとしている。

## **2 財政措置の効率的かつ重点的な運用**

厳しい財政事情のもとで限られた予算を最大限有効に活用する観点から、財政措置の効率的かつ重点的な運用に努めた。また、類似の事業について重複投資を行わないよう、関係府省が連携して計画的に事業を実施した。

## **3 情報受発信の推進**

国民の意識や関心、施策への意見等を的確に把握し、施策の立案等へ反映させるとともに、政策立案の透明性の確保を図る観点から、ホームページ上における動画配信やメールマガジン等の各種媒体・手段を活用し、政策課題や施策内容等、国民のニーズに即した情報の受発信を実施した。

また、その一環として、広域なネットワークを有する統計・情報センターにおいて、直接国民からの要望、意見を対面で聞き取る取組を強化するとともに、情報を提供・収集する催しを実施した。

## **4 コスト構造改革**

事業を効率的に進めるため、農林水産公共事業について引き続き「コスト構造改革プログラム」に基づきコスト縮減の取組を推進した。

「工事コストの縮減」、「事業便益の早期発現」及び「維持管理費の縮減」による総合コスト縮減率で、平成19年度までの計画期間内に14年度と比較して15%の縮減を目指し、具体的には、以下の事項に取り組んだ。

- ① 事業の重点化・集中化や資源の循環利用を促進する効率性の向上
- ② 弾力的な計画・設計等の促進や既存施設の長寿命化等による設計等の最適化
- ③ 民間技術力を活用する入札契約方式や電子入札の導入等による調達の最適化
- ④ 住民参加による地域構想の策定等による地域特性の重視
- ⑤ 入札契約情報等を公表する透明性の向上

## **5 国と地方の役割分担及び多様な主体の参加と連携**

地域の自主性と創意工夫の発揮等の観点から、国と地方が適切に役割を分担しつつ行うとともに、地域の主体的取組の推進が図られるよう地方単独施策にかかる措置を講じた。

特に公共投資の分野では、地域住民、N P O、民間企業等の多様な主体の参画と連携を促進し、民間主体の資金や能力を適切に活用するP F I手法の導入を図るとともに、国の関与を縮減することにより、市町村がより高い自由度を有し、地域の創造力を活かした個性あるむらづくりを推進した。



# 参考1 食料・農業・農村政策日誌

## (平成16年4月～平成17年3月)

平成16年

- 4月 1日（木）  
・農林水産省大臣官房国際部貿易関税課に輸出促進室を設置。  
・改正食糧法施行。生産調整の見直し、計画流通制度の廃止等の実施。  
・「農林水産省米政策改革推進本部」設置。
- 4月 7日（水） \*中国の加熱処理家きん肉等の一部について、日本向けに輸出が可能な35施設からの輸入を再開。
- 4月 8日（木） \*「食料・農業・農村政策審議会（第7回）」において、「平成16年度において講じようとする食料・農業・農村施策」の諮問・答申。
- 4月 14日（水） ・「農林水産省国産農林水産物・食品輸出促進本部」（本部長：亀井農林水産大臣）設置。
- 4月 15日（木） \*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会果樹部会需給小委員会」第1回開催。
- 4月 16日（金） \*「経営構造対策の在り方に関する研究会」において、「今後の経営構造対策の在り方について」中間取りまとめ。
- 4月 20日（火） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）－BSEに関する講演会一」開催（東京都港区）。
- 4月 21日（水） \*「研究基本計画検討専門委員会」設置。
- 4月 22日（木） \*「OIE/BSEコード改正に関する専門家会合」開催。  
\*「農業資材審議会第3回種苗分科会」において、花粉をつくらないすぎ等の品種の出願に対応するための重要な形質の指定について、諮問・答申。
- 4月 23日（金） \*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会果樹部会産地・経営小委員会」第1回開催。  
\*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会畜産企画部会家畜改良増殖小委員会」第1回会合。  
\*「研究開発の評価結果（平成16年度競争的研究資金による研究課題評価）」公表。
- 4月 26日（月） \*「食品に関するリスクコミュニケーション」開催（栃木県宇都宮市）。  
\*「食品に関するリスクコミュニケーション（OIEにおけるBSEルールの改正に関する意見交換会）」開催（東京都千代田区）。
- 4月 27日（火） \*「バイオマス活用協議会」設立。  
\*「農林漁業金融に関する研究会」第1回会合。
- 4月 28日（水） \*「植物新品種の保護に関する研究会」第1回会合。
- 4月 30日（金） \*亀井農林水産大臣、スponハイム・ノルウェー農業大臣と会談。
- 5月 1日（土） \*牛せき柱及び死亡牛に由来する動物性油脂の飼料利用を禁止する措置を施行。
- 5月 3日（月） \*亀井農林水産大臣、グローサー農業委員会特別会議長、フィシュラーEU委員（農業担当）と会談。
- 5月 4日（火） \*亀井農林水産大臣、ダイス・スイス経済大臣兼大統領と会談。
- 5月 14日（金） \*「食の安全・安心のための政策大綱工程表（平成16年度）」公表。  
\*「犬等の検疫制度検討会」第1回会合。
- 5月 17日（月） \*「乳用種に係る肉用子牛生産者補給金制度の運用の在り方に関する研究会」第1回会合。

平成16年

- 5月18日（火） \*「平成16年度において講じようとする食料・農業・農村施策」「平成15年度食料・農業・農村の動向に関する年次報告」閣議決定・国会提出。  
\*食料・農業・農村政策審議会農村振興分科会農業農村整備部会技術小委員会報告「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き（第3編）『ほ場整備（水田・畑）』」公表。
- 5月19日（水） \*「食品に関するリスクコミュニケーション」開催（大分県大分市）。  
・「農業委員会等に関する法律の一部を改正する法律」、「農業改良助長法の一部を改正する法律」、「青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法の一部を改正する法律」成立。
- 5月20日（木） ・亀井農林水産大臣、ペターシェン・ノルウェー外務大臣と会談。
- 5月21日（金） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（名古屋）－BSEに関する講演会－」開催（愛知県名古屋市）。  
\*「食品中の汚染物質対策の16年度の行動計画」公表。  
\*植物検疫に関する研究会報告書「今後の我が国植物検疫の在り方に関する提言」公表。
- 5月22日（土） \*亀井農林水産大臣、杜（ドゥ）中国農業部長、許（ホ）韓国農林部長官と会談。
- 5月23日（日） \*亀井農林水産大臣、ACD（アジア協力対話）農業大臣会合へ出席。
- 5月24日（月） \*棚田オーナー制度のホームページによる情報提供開始（全国水土里ネット）。<http://www.inakajin.or.jp/tanada/tanada.html>  
\*「第3回食料・農業・農村政策推進本部」において、農政改革に当たっての基本的な視点及び改革の方向について亀井農林水産大臣の考えを取りまとめた「農政改革基本構想」発表。
- 5月25日（火） \*「平成16年度農林水産環境政策アドバイザリー会議」第1回会合。
- 5月26日（水） \*「食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食糧部会政策検討小委員会」第1回会合。  
・「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律」成立。
- 5月28日（金） ・亀井農林水産大臣、ロドリゲス・ブラジル農務大臣と会談。
- 5月31日（月） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（魚食に関する意見交換会）」開催（東京都千代田区）。
- 6月 2日（水） \*卸売市場の仲卸業者等から取引に関する相談を受けつける窓口（市場取引110番）開設。  
\*「農業農村整備事業等における公共事業（補助事業分）の事前評価結果」公表。
- 6月 3日（木） ・「卸売市場法の一部を改正する法律」、「特定農産加工業経営改善臨時措置法の一部を改正する法律」、「競馬法の一部を改正する法律」成立。
- 6月 8日（金） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（仙台）－BSEに関する意見交換会－」開催（宮城県仙台市）。
- 6月 9日（水） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（カドミウムに関する意見交換会（第2回））」開催（東京都千代田区）。  
・米国からの家きん、家きん肉等の輸入停止措置を一部解除（平成16年2月7日から輸入停止）。
- 6月11日（金） \*「農業協同組合法及び農業信用保証保険法の一部を改正する法律」、「景観法」成立。

平成16年

- 6月11日（金） \*台風第4号上陸。沖縄県、鹿児島県を中心に農林水産関係で約25億円の被害。
- 6月14日（月） \*「「立ち上がる農山漁村」有識者会議」第1回会合。
- 6月15日（火） \*「国産大豆の安定供給に関する懇談会」第1回会合。
- 6月17日（木） \*平成16年度「消費者等との定例懇談会」第1回開催。
- 6月18日（金） ・「かび毒のリスク管理検討会」第1回会合。
- 6月21日（月） \*地域再生計画認定（農林水産省関係87件）。  
・日本産かき生果実のオーストラリア向け輸出解禁。  
\*台風第6号上陸。九州、四国、近畿地方を中心に農林水産関係で約201億円の被害。
- 6月22日（火） \*構造改革特別区域計画第5回認定（農林水産省関係新規21件、変更1件）  
\*亀井農林水産大臣、ラミーEU委員（貿易担当）と会談。  
・オランダからの家きん、家きん肉等の輸入停止措置を解除（平成16年3月17日から輸入停止）。
- 6月25日（金） \*「農林水産環境政策提案会」第1回開催。
- 6月29日（火） \*「女性農業者と亀井農林水産大臣との意見交換会」開催。
- 6月30日（水） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（食品中に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会）」開催（東京都港区）。  
\*米国産りんご生果実に係る火傷病検疫措置を改正。  
\*「高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム検討会」において、報告書の取りまとめ。
- 7月1日（木） \*「消費・安全局 設置から1年間のとりくみ」取りまとめ。  
\*「JAS制度のあり方検討会」において、「JAS制度のあり方検討会 中間取りまとめ」取りまとめ。
- 7月2日（金） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）～食品安全の新たな取組みの1年とこれから～」開催（東京都新宿区）。
- 7月5日（月） \*亀井農林水産大臣、G10閣僚会合へ出席（スイス）。  
\*「鶏の改良増殖目標についての研究会」第1回会合。
- 7月6日（火） \*亀井農林水産大臣、グローサー農業交渉グループ議長と会談。  
\*「家畜の改良増殖目標についての研究会（豚）」第1回会合。
- 7月8日（木） \*「家畜の改良増殖目標についての研究会（乳用牛）」第1回会合。
- 7月9日（金） ・輸入停止措置を講じているアイルランド産めん羊肉が15年8月から12月までの間に誤って4件合計約73トン輸入されていたことが判明。
- 7月13日（火） \*「魚食と健康について」ホームページ掲載。[http://www.maff.go.jp/fish\\_eat/fish-top.htm](http://www.maff.go.jp/fish_eat/fish-top.htm)  
\*子ども向け白書「ジュニア農林水産白書」公表。
- 7月14日（水） \*「農業資材審議会飼料分科会」において、抗菌性飼料添加物4品目について指定取消を答申。
- 7月16日（金） \*「平成15年度農林水産省政策評価（実績評価）結果」公表。
- 7月21日（水） \*「家畜の改良増殖目標についての研究会（肉用牛）」第1回会合。  
・梅雨前線豪雨により、新潟県、福井県を中心に農林水産関係で約680億円の被害（主に7月8日～21日）。

平成16年

- 7月22日(木)   ・木村農林水産大臣政務官、ウサビアガ・メキシコ農業大臣と会談。  
              \*「水産防疫体制に関する専門家会議」において、報告書取りまとめ。
- 7月23日(金)   ・「食の安全・安心シンポジウムinとやま」開催(富山県富山市)。
- 7月25日(日)   \*生産情報公表豚肉の日本農林規格施行。
- 7月27日(火)   \*「食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食料需給予測部会」において、「海外食料需給レポート2004」取りまとめ。  
              ・「食品に関するリスクコミュニケーション～農薬のリスクアナリシス(リスク分析)に関する意見交換会～」開催(大阪府大阪市)。  
              ・平成16年度「コミュニケーション推進研修(バイオテクノロジー体験研修)」第1回開催(第2回:8月3日~6日、第3回:8月10日~13日)。
- 7月27日(火)~7月30日(金) \*亀井農林水産大臣、WTO一般理事会へ出席、WTO交渉枠組み合意。
- 7月27日(火)~7月31日(土)   ダイス・スイス経済大臣兼大統領、グローサー農業委員会特別会合議長、カタリー・モーリシャス外務貿易大臣(27日)、ミッチャエル・カナダ農業大臣、金(キム)韓国農林部副長官(28日)と会談。
- 7月29日(木)   \*「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」公表。
- 7月30日(金)   \*米国産りんごの火傷病に係る植物検疫措置に関する再パネル設置。  
              \*「消費者団体との懇談会」開催。
- 7月31日(土)   \*台風第10号上陸。
- 8月 2日(月)   \*「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)～薬剤耐性菌の食品健康影響評価指針案に関する意見交換会～」開催。
- 8月 3日(火)   ・「食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の化学物質の安全性に関する意見交換会～」開催(北海道札幌市)。
- 8月 4日(水)   \*「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)～日本における牛海綿状脳症(BSE)対策の検証に関する意見交換会～」開催。  
              \*台風第11号上陸。台風第10号及び第11号の影響により、四国、近畿、中国地方を中心に農林水産関係で約237億円の被害。
- 8月 5日(木)   ・シンガポールにおいて、マレーシアから輸入したあひるから鳥インフルエンザウイルスが検出されたため、マレーシア産の生きた家きん・家きん肉等の輸入を停止。  
              \*「花き産業振興方針検討会」第1回会合。
- 8月 6日(金)   \*「平成15年度食料需給表」公表。  
              \*「食品に関するリスクコミュニケーション(リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会)」開催(愛媛県松山市)。
- 8月 8日(日)   ・金田農林水産副大臣、「国際コメ年記年フォーラム『コメを考えるフォーラム』」(福井県福井市)に出席。
- 8月 9日(月)   \*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会畜産企画部会(第6回)」において、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために必要な基本方針」の策定に当たっての中間取りまとめ。  
              ・南アフリカ共和国において、ダチョウから鳥インフルエンザウイルスが分離されたため、南アフリカ共和国産の生きた家きん・家きん肉等の輸入を一時停止。
- 8月10日(火)   \*「食料・農業・農村政策審議会(第8回)」において、同審議会企画部会が、新たな「食料・農業・農村基本計画」に向けた中間論点整理を報告。

平成16年

- 8月 11日 (水) \* 「食料・農業・農村政策審議会生産分科会果樹部会（第2回）」において、「果樹農業振興基本方針の策定に当たっての中間論点整理」取りまとめ。  
\* 「食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食糧部会麦政策検討小委員会」において、「麦政策の再構築に向けた中間論点整理」取りまとめ。
- 8月 18日 (水) \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（牛海綿状脳症(BSE)対策に関する意見交換会）」開催（東京都港区）。  
・木村農林水産大臣政務官、ネーメト・ハンガリー農村・地方開発大臣と会談。
- 8月 19日 (木) \* 「中山間地域等総合対策検討会」において「中山間地域等直接支払制度の検証と課題の整理」取りまとめ。
- 8月 20日 (金) \* 台風第15号上陸。これに伴う前線の影響で、東北、四国地方を中心に農林水産関係で約551億円の被害。
- 8月 24日 (火) \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（大阪）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」開催。  
・金田農林水産副大臣、「国際コメ年記念フォーラム宮城大会」（宮城県仙台市）に出席。
- 8月 25日 (水) \* 「国産大豆の安定供給に関する懇談会」において「国産大豆の安定供給に関する懇談会中間取りまとめ」取りまとめ。  
\* 「野菜政策に関する研究会」において「野菜政策の基本的方向「野菜政策に関する研究会」中間報告書」取りまとめ。
- 8月 27日 (金) \* 市川農林水産副大臣、サラギ・インドネシア農業大臣と会談。  
\* 「食品安全フォーラムinとかち」開催（北海道帯広市）。
- 8月 30日 (月) \* 「食料・農業・農村政策審議会企画部会地方公聴会（仙台会場）」開催（9月7日（火）に予定していた岡山会場は悪天候のため中止）。  
・「砂糖及びでん粉に関する検討会」第1回会合。  
・台湾産家きん・家きん肉等の輸入停止措置解除（平成16年1月15日から輸入停止）。
- 8月 31日 (火) \* 台風第16号上陸。農林水産関係では、全国の広い範囲で約961億円の被害。  
\* 平成17年度農林水産予算概算要求を財務省へ提出。  
\* 8月26日に佐賀地方裁判所から出された「諫早湾干拓・仮処分命令」に対して異議申立て。  
\* 「養豚問題懇談会」第1回会合。  
\* 「国営土地改良事業等の事業評価（事前・期中・完了後の評価）結果」公表。  
\* 「研究開発の評価結果（平成17年度概算要求に向けた研究開発の事前評価）」公表。
- 9月 1日 (水) \* 市川農林水産副大臣、ファット・ベトナム農業農村開発省大臣代行と会談。  
\* 「食品に関するリスクコミュニケーション（牛海綿状脳症(BSE)対策に関する意見交換会）」開催（熊本県熊本市）。
- 9月 3日 (金) \* 「農林漁業金融に関する研究会（第7回）」において、「これまでの議論の整理」の取りまとめ。  
\* 「養鶏問題懇談会」第1回会合。

平成16年

- 9月 3日(金) \*「食品に関するリスクコミュニケーション（牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会）」開催（北海道札幌市）。  
\*「農業農村整備事業等補助事業の事前評価結果」公表。
- 9月 6日(月) \*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会甘味資源部会」において、平成20砂糖年度国内産糖の目標生産費について諮問・答申。
- 9月 7日(火) \*「食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）」開催（岩手県盛岡市）。  
\*「農業・食料関連産業の経済計算（平成14年度速報）」公表。  
\*「美の里づくりガイドライン」公表。  
\*台風第18号上陸。農林水産関係では、全国の広い範囲で約1769億円の被害
- 9月 8日(水) ・亀井農林水産大臣、「経済連携タウンミーティング イン 東京」（東京都港区）に出席。
- 9月 9日(木) ・食品安全委員会において、「日本における牛海綿状脳症（BSE）対策について中間とりまとめ」取りまとめ。  
\*「飼養衛生管理基準」制定（12月1日施行）。
- 9月 10日(金) \*「農業資材審議会飼料分科会」において、豚由来たん白質等について飼料利用を可とする旨答申。
- 9月 11日(土) ・「立ち上がる農山漁村」シンポジウム」開催。
- 9月 12日(日) ・金田農林水産副大臣、「経済連携タウンミーティング イン 鹿児島」（鹿児島県鹿児島市）に出席。
- 9月 13日(月) ・国内で12例目のBSE感染牛を確認。
- 9月 14日(火) \*「農林水産省災害対策本部」（本部長：金田農林水産副大臣）設置。
- 9月 15日(水) ・亀井農林水産大臣、カノ・コロンビア農業・農村開発大臣と会談。
- 9月 16日(木) \*「食品に関するリスクコミュニケーション（東京・大阪）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」東京会場開催。  
〔大阪会場（18日）〕  
・カナダ産家きん・家きん肉等の輸入停止措置解除（平成16年2月20日から輸入停止）。
- 9月 17日(金) ・日・メキシコ経済連携協定署名。  
\*「食品に関するリスクコミュニケーション（水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項の見直しに関する意見交換会）」開催（東京都千代田区）。
- 9月 21日(火) \*「食品に関するリスクコミュニケーション（牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会）」開催（東京会場）。  
〔神戸会場（22日）、札幌会場（23日）、熊本会場（24日）〕
- 9月 22日(水) \*「都市と農山漁村の共生・対流に関わるNPO法人との懇談会」開催。  
\*「植物新品種の保護に関する研究会」において中間とりまとめ。
- 9月 23日(木) \*国内で13例目のBSE感染牛を確認。
- 9月 24日(金) \*「諫早湾干拓・仮処分命令」に対する異議申立理由書等を提出。
- 9月 27日(月) \*島村農林水産大臣就任。  
\*「食品に関するリスクコミュニケーション（名古屋）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」開催。

平成16年

- 9月 28日 (火)    • 米国からの家きん・家きん肉等の輸入停止措置を一部解除（ロードアイランド州、デラウェア州及びメリーランド州）。  
                    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（岡山）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」開催。  
                    \* 「平成15年度 食料自給率レポート」公表。
- 9月 29日 (水)    \* 「家畜の改良増殖目標についての研究会（馬）」第1回会合。  
                    \* 「食品等の地理的表示の保護に関する専門家会合」第1回会合。  
                    \* ブラジル産マンゴウ生果実の輸入解禁。  
                    \* 台風第21号上陸。農林水産関係では、全国の広い範囲で約818億円の被害。  
                    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（農薬のリスクアナリシス（リスク分析）に関する意見交換会）及び（牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会）」開催（石川県金沢市）。
- 9月 30日 (木)    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）及び（牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会）」開催（宮城県仙台市）。
- 10月 4日 (月)    \* 「植物新品種の保護に関する研究会 自家増殖に関する分科会」第1回会合。
- 10月 5日 (火)    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会）」開催（愛知県名古屋市）。  
                    \* 「犬等の検疫制度検討会」において、新しい検疫制度取りまとめ。
- 10月 6日 (水)    • 平成16年度「食を考える国民フォーラム」第1回開催。島村農林水産大臣出席。  
                    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（福岡）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」開催。
- 10月 8日 (金)    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（札幌）～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～」開催。  
                    \* 農業生産資材問題検討会中間報告「平成16年農業生産資材問題検討会中間報告書」公表。
- 10月 9日 (土)    \* 台風第22号上陸。関東、東海地方を中心に農林水産関係で約120億円の被害。
- 10月 12日 (火)    • 島村農林水産大臣、ミッチャエル・カナダ農務・農産食品大臣と会談。  
                    \* 「環境と調和のとれた作物生産の確保に関する懇談会」第1回会合。
- 10月 13日 (水)    • 島村農林水産大臣、ダイス・スイス大統領と会談。  
                    \* 「家畜の改良増殖目標についての研究会（めん羊・山羊）」第1回会合。  
                    \* 「食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）」開催（沖縄県那覇市）。
- 10月 14日 (木)    \* 国内で14例目のBSE感染牛を確認。
- 10月 14日 (木)    • 「アグリビジネス創出フェア～新産業のアイデアはここにある！」開催（東京）
- ~10月 15日 (金)    \* 「植物新品種の保護に関する研究会 加工品に関する分科会」第1回会合。  
                    \* 「高病原性鳥インフルエンザに関する意見交換会」開催（東京都港区）。  
                    • 国内におけるBSE対策の見直し案について食品安全委員会に諮問。
- 10月 18日 (月)    \* 砂糖及びでん粉に関する検討会 砂糖分科会」第1回会合。

平成16年

- 10月 19日 (火) ・「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）～英国におけるBSE 対策の変遷とリスクコミュニケーション～」開催。
- 10月 20日 (水) \*台風第23号上陸。農林水産業関係では、全国の広い範囲で約2,271億円の被害。  
\*平成16年度農林水産省男女共同参画推進本部「農村女性との意見交換会」開催。
- 10月 21日 (木) \*砂糖及びでん粉に関する検討会「でん粉分科会」第1回会合。
- 10月 22日 (金) \*「食品に関するリスクコミュニケーション（農薬に関する意見交換会）」開催（兵庫県神戸市）。
- 10月 23日 (土) ・新潟県中越地震。農林水産関係では、約1,309億円の被害。
- 10月 25日 (月) \*「農林水産省新潟県中越地震災害対策本部」（本部長：岩永農林水産副大臣）設置。
- 10月 26日 (火) \*農林水産省内に新潟県中越地震食料供給対策チーム設置。政府所有食料の供給及び食料品関係団体等に対する協力要請を実施。  
\*高病原性鳥インフルエンザに関する意見交換会（関係事業者間の顔の見える関係づくり）開催（東京都千代田区）。  
・農林水産省災害対策本部に緊急野菜供給対策プロジェクトチーム設置。  
\*「食の安全・安心フォーラムinちば」開催（千葉県千葉市）。
- 10月 27日 (水) ・島村農林水産大臣、モ里斯・国連世界食糧計画（WFP）事務局長と会談。
- 10月 28日 (木) ・りんご火傷病の植物検疫措置に関するWTO再パネル会合（スイス）。
- ~10月 29日 (金)
- 10月 29日 (金) \*「JAS制度のあり方検討会」において、「JAS制度のあり方検討会最終報告」取りまとめ。  
\*「食品に関するリスクコミュニケーション（栄養と健康に関する意見交換会）」開催（愛知県名古屋市）。  
・「食品に関するリスクコミュニケーション（三田）～BSE－そのリスクと対策を改めて考える～」開催（東京都港区）。
- 11月 2日 (火) ・加治屋農林水産大臣政務官、バシアコス・ギリシア農業大臣と会談。
- 11月 4日 (木) ・「世界イネ研究会議－科学技術が拓くコメと人の未来－」開催。  
(4日：東京、5～7日：つくば)
- ~11月 7日 (日)
- 11月 5日 (金) ・島村農林水産大臣、ディウフ国連食糧農業機関（FAO）事務局長と会談。  
・常田農林水産副大臣、モーリー・イギリス環境・食糧・農村地域閣外大臣と会談。
- 11月 8日 (月) \*全国41会場で「食品に関するリスクコミュニケーション～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策に関する意見交換会～」を順次開催（~12月24日（金））。
- 11月 9日 (火) \*「個人情報の適正な取扱いを確保するために農林水産分野における事業者が講すべき措置に関するガイドライン」制定。  
\*食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食料需給予測部会において、「世界の穀物等の需給動向」公表。
- 11月 10日 (水) ・8月17日～9月8日までの間の天災（台風第15号、第16号及び第18号）にかかる天災融資法の発動。  
\*「牛の月齢判別に関する検討会」第1回会合。

平成16年

- 11月10日（水）・「2004ため池フォーラムinおかやま」開催（岡山県岡山市）。
- ~11月11日（木）
- 11月12日（木）\*第5回FTA本部会合において、「農林水産分野におけるアジア諸国とのEPA推進について（みどりのアジアEPA推進戦略）」策定。
- 11月13日（土）・岩永農林水産副大臣、「ライスフェスティバル in 北海道」（北海道札幌市）に出席。
- 11月15日（月）・島村農林水産大臣、ニクヴィスト・スウェーデン農業・食料・消費問題大臣と会談。
- 11月18日（木）\*「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」公表。  
\*「農業資材審議会第4回種苗分科会」において、保護対象として新たに追加されたきのこ10種の重要な形質の指定について、諮問・答申。
- 11月19日（金）\*「総合的病害虫管理（IPM）検討会」第1回会合。
- 11月22日（月）\*「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」公表（平成17年産米の都道県別生産目標数量の配分）。
- 11月24日（水）\*「食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏ました食品安全行政の取組や健康食品、牛海綿状脳症(BSE)対策についての意見交換会）」開催（岡山県岡山市）。
- 11月29日（月）\*日・フィリピン経済連携協定について大筋合意。  
\*「牛海綿状脳症に関する特定家畜伝染病防疫指針」公表。
- 11月30日（火）\*「鶏卵トレーサビリティ導入ガイドライン」公表。
- 12月 1日（水）\*台湾産台農二号種のパパイヤ生果実の輸入解禁。  
\*「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」公表。  
\*「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」の流通段階の措置の施行。
- 12月 3日（金）\*「農業資材審議会農業機械化分科会検査部会」において、平成17年度において型式検査を行う農機具の種類、型式検査の主要な実施方法及び基準の改正について諮問・答申。  
\*「食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全性確保に関する意見交換会）」開催（神奈川県横浜市）。  
\*平成16年度「消費者等との定例懇談会」第2回開催。
- 12月 4日（土）・岩永農林水産副大臣、「国際コメ年記念大阪フォーラム」（大阪府大阪市）に出席。
- 12月 5日（日）・岩永農林水産副大臣、「経済連携タウンミーティング イン 神戸」（兵庫県神戸市）に出席。
- 12月 6日（月）\*「食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食糧部会麦政策検討小委員会」において、麦政策の見直しについて一定の整理。
- 12月 8日（水）\*地域再生計画第2回認定（農林水産省関係19件）  
\*構造改革特別区域計画第6回認定（農林水産省関係新規23件、変更3件）
- 12月 9日（木）「乳用種に係る肉用子牛生産者補給金制度の運用の在り方に関する研究会」報告書公表。
- 12月13日（月）\*「食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食糧部会」において、麦の標準壳渡価格について諮問・答申。麦政策検討小委員会における麦政策見直しの検討状況を報告。
- 12月15日（水）・岩永農林水産副大臣、ミャンマー農業灌漑大臣・畜水産大臣等と会談。

平成17年

- 12月 16日（木） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（アクリルアミドに関する意見交換会）」の開催（東京都千代田区）。
- 12月 17日（金） ・岩永農林水産副大臣、インドネシア農業大臣・貿易大臣と会談。
- 12月 21日（火） \*「植物新品種の保護に関する研究会報告」公表。
- 12月 22日（水） \*韓国において、鳥インフルエンザが発生したため、韓国からの家きん等の一時輸入停止措置（平成17年3月24日解除）。
- 12月 24日（金） \*平成17年度農林水産予算概算決定。  
・「フードガイド（仮称）検討会」第1回会合。  
\*「農業農村整備事業等補助事業の事前評価」公表。
- 1月 5日（水） \*「インドネシア・スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波被害への支援に関する農林水産省連絡会議」第1回開催。
- 1月 12日（水） \*島村農林水産大臣、スパチャイ・WTO事務局長と会談。  
\*常田農林水産副大臣、ブーリヤ・インド農業閣外大臣と会談。  
1月 12日（水） ・りんご火傷病の植物検疫措置に関するWTO再パネル会合（スイス）。
- ～1月 13日（木）
- 1月 13日（木） \*島村農林水産大臣、ダイス・スイス経済大臣と会談。
- 1月 14日（金） \*島村農林水産大臣、ボエル・EU農業担当委員と会談。  
\*オーストラリア連邦産カンキツ属植物の生果実の輸入解禁。
- 1月 15日（土） ・常田農林水産副大臣、アヌワル・バングラデシュ農業大臣、チョウドリー・バングラデシュ商業大臣と会談。  
・「ニッポン食育フェア」開催（東京）。
- ～1月 16日（日）
- 1月 18日（火） ・島村農林水産大臣、グローサー・WTO農業交渉議長と会談。
- 1月 20日（木） \*平成16年度「全国食料品消費モニター懇談会」開催。
- 1月 25日（火） \*「小動物獣医療に関する検討会」第1回会合。
- 1月 26日（水） \*「諫早湾干拓・仮処分命令」に対して保全抗告申立て。
- 1月 28日（金） ・「食を考える国民フォーラム」開催。
- 1月 31日（月） ・加治屋農林水産大臣政務官、デ・ヨング・ブリティッシュ・コロンビア州（カナダ）林業大臣と会談。
- 2月 4日（金） \*「平成17年夏に向けた担い手育成の重点方針」策定。  
\*『「無農薬」等農薬・化学肥料に係る農産物の表示特別調査』の実施結果公表。
- 2月 8日（火） \*牛の月齢判別に関する検討会の報告書の取りまとめ。
- 2月 9日（水） \*「食品に関するリスクコミュニケーション（農薬に関する意見交換会）」開催（宮城県仙台市）。
- 2月 10日（木） \*バイオマстаун構想公表（第1回）。
- 2月 18日（金） ・平成16年発生災害に係る農林水産業関係被害状況（速報）公表（被害総額約1兆円）。
- 2月 22日（火） ・岩永農林水産副大臣、ロース・フランス経済財政産業省貿易担当大臣と会談。
- 2月 23日（水） ・「第2回オーライ！ニッポン全国大会」開催。
- 2月 25日（金） \*全国農業協同組合連合会に対して、「全農改革の対応方向」について申し入れ。
- 2月 26日（土） \*国内で15例目のBSE感染牛を確認。

平成17年

- 3月 2日（水）
  - ・島村農林水産大臣、ウサビアガ・メキシコ農牧大臣と会談。
- 3月 8日（火）
  - ・「食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）」開催（富山県富山市）。
  - ・島村農林水産大臣、ウサビアガ・メキシコ農牧大臣と会談。
- 3月 9日（水）
  - \*「食料・農業・農村政策審議会」第10回において、「食料・農業・農村基本計画」の答申。
- 3月10日（木）
  - \*オーストラリアのタスマニア産さくらんぼの生果実及びイタリア共和国産タロッコ種のスウィートオレンジの生果実輸入解禁。
- 3月11日（金）
  - \*「食料・農業・農村政策審議会生産分科会果樹部会（第5回）」において、「果樹農業振興基本方針」答申。
  - ・「子ども農業体験活動実践フォーラム」開催。
- 3月12日（土）
  - ・大口農林水産大臣政務官、ディウフFAO事務局長と会談。
- 3月14日（月）
  - \*「食品に関するリスクコミュニケーション（食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会）」の開催。
- 3月15日（火）
  - ・「21世紀の農林水産技術を展望するシンポジウム」開催。
  - ・大口農林水産大臣政務官、ロンドン国際食品・飲料見本市場視察。
- 3月16日（水）
  - \*北朝鮮からの家きん等の一時輸入停止措置。
- 3月17日（木）
  - ・「食料・農業・農村政策審議会生産分科会平成16年度第2回畜産物価格等部会」において、「平成17年度の生産者補給交付金に係る加工原料乳の数量の最高限度として農林水産大臣が定める数量及び加工原料乳の補給金単価を定めるに当たり留意すべき事項について」、「平成17年度の指定食肉の安定価格を定めるに当たり留意すべき事項について」及び「平成17年度の肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格を定めるに当たり留意すべき事項について」の諮問・答申。
  - ・「植物防疫に関する意見交換会」開催。
- 3月22日（火）
  - ・島村農林水産大臣、ダウナー豪州外務大臣と会談。
  - ・大口農林水産大臣政務官、コスタ米国下院議員と会談。
  - ・「食料・農業・農村政策審議会生産分科会畜産企画部会（第12回）」において、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」並びに「家畜改良増殖目標及び鶏の改良増殖目標」の答申。
  - \*「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」公表。
- 3月23日（水）
  - ・「外食における原産地等の表示に関する検討会」第1回会合。
- 3月25日（金）
  - \*「食料・農業・農村基本計画」閣議決定。
  - \*「貝類（カキ・ホタテ）トレーサビリティ導入ガイドライン」公表。
- 3月28日（月）
  - \*地域再生計画第3回認定（農林水産省関係13件）
- 3月30日（水）
  - \*「養豚問題懇談会」報告書とりまとめ。
  - \*「養鶏問題懇談会」報告書とりまとめ。
  - \*「果樹農業振興基本方針」公表。
  - \*「農業農村整備事業等における公共事業（補助事業分）の事業評価結果」公表。
  - \*「農林水産研究基本計画」策定。
- 3月31日（木）
  - \*「野菜政策に関する研究会」報告書とりまとめ。

平成17年

- 3月31日(木)
- \* 「砂糖及びでん粉に関する検討会」報告書とりまとめ。
  - \* 「花き産業振興方針」公表。
  - \* 「研究開発の事業評価（研究制度評価及び研究課題評価）」公表。
  - \* 「環境と調和のとれた農業生産活動規範（農業環境規範）」公表。
  - \* 「平成16年度事業評価（農業農村整備事業等補助事業）結果」公表。
  - \* 「農業農村整備事業に関する新たな技術開発五カ年計画」とりまとめ。

注：\*の内容については、農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp>) から詳細の入手が可能。

## 参考2 平成16年度中に開催した審議会等

審議会等の名称 <sup>注1</sup>	検討内容	開催期間	ホームページ掲載 <sup>注2</sup>			事務局 <sup>注3</sup> (連絡先)
			会議資料	議事録	報告等	
食料・農業・農村政策審議会	食料・農業・農村基本法の施行に関する重要事項を調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	大臣官房企画評価課(3597-1689)
企画部会	食料・農業・農村基本計画の策定及び変更並びに推進に関するものを調査審議	継続的に審議	○	○	○	大臣官房企画評価課(3597-1689)
施策部会	平成16年度の食料・農業・農村の動向を踏まえ、平成17年度の講じようとする食料・農業・農村施策について調査審議	継続的に審議	○	○	-	大臣官房情報課情報分析室(3501-3883)
統計部会	農林水産省の所掌事務に係る統計の作成等に関する重要事項の調査審議	継続的に審議	○	○	○	大臣官房統計部統計企画課(3502-5631)
農作物平年収量小委員会	平成17年産水稻10a当たり平年収量について調査審議	継続的に審議	○	○	○	大臣官房統計部生産流通消費統計課(3501-4502)
総合食料分科会	食料の安定供給の確保に関する施策にかかるものを調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	総合食料局食料企画課(3501-3884)
食料需給予測部会	食料の安定供給の確保に資する海外の食料需給の分析検討等について審議	継続的に審議	○	○	-	総合食料局食料企画課(3501-3884)
食糧部会	主要食糧の需給及び価格の安定並びに主要食糧を主な原料とする飲食料品の安定供給の確保に関する施策にかかるものを調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	総合食料局食料企画課(3501-3884)
麦政策検討小委員会	麦の生産から流通・加工に至る各方面にわたる施策・制度について、その機能・役割と実施状況を検証、麦政策の見直しを検討	平成16年5月～	○	○	○	総合食料局食糧部食糧貿易課(3501-3813)
食料・農業・農村政策審議会 消費・安全分科会	食料の消費の改善及び安全性の確保に関する施策にかかるものを調査審議	継続的に審議	○	○	-	消費・安全局消費・安全政策課(3591-4963)
家畜衛生部会	食料の消費の改善及び安全性の確保に関する施策のうち、家畜衛生にかかるものを調査審議 家畜伝染病予防法の規定により、食料・農業・農村政策審議会の権限に属させられた事項を処理	継続的に審議	○	○	-	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)
衛生管理小委員会	家畜衛生部会の所掌事務のうち、衛生管理にかかる専門的、技術的な事項を調査審議	継続的に審議	○	○	-	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)
牛豚等疾病小委員会	家畜衛生部会の所掌事務のうち、牛豚等の疾病にかかる専門的、技術的な事項を調査審議	継続的に審議	○	○	-	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)
家きん疾病小委員会	家畜衛生部会の所掌事務のうち、家きんの疾病にかかる専門的、技術的な事項を調査審議	継続的に審議	○	○	-	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)
プリオン病小委員会	家畜衛生部会の所掌事務のうち、プリオン病に係る専門的、技術的な事項を調査審議	継続的に審議	○	○ (概要)	-	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)
生産分科会						
果樹部会	平成16年産うんしゅうみかん及びりんご適正生産出荷見通しについて調査審議 「果樹農業振興基本方針」の見直しについての調査審議	継続的に審議	○	○ (概要)	○ (答申)	生産局果樹花き課(3501-3081)

審議会等の名称 <sup>注1</sup>	検討内容	開催期間	ホームページ掲載 <sup>注2</sup>			事務局 <sup>注3</sup> (連絡先)
			会議資料	議事録	報告等	
産地・経営小委員会	「果樹農業振興基本方針」の見直しにおいて、果樹の栽培及び果樹園の経営等にかかる事項についての調査審議	平成16年4月～	○	○	—	生産局果樹花き課(3501-3081)
需要小委員会	「果樹農業振興基本方針」の見直しにおいて、果実の需要の長期見通し等にかかる事項についての調査審議	平成16年4月～	○	○	—	生産局果樹花き課(3501-3081)
甘味資源部会	平成20砂糖年度国内産糖の目標生産費について調査審議	平成16年9月	○	×	○	生産局特産振興課(3501-3814)
畜産物価格等部会	平成17年度の指定食肉の安定価格、加工原料乳の補給金単価等畜産の生産振興に関する施策について調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	生産局畜産部畜産企画課(3501-3881)
畜産企画部会	「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」及び「家畜改良増殖目標」の見直しについての調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	生産局畜産部畜産企画課(3501-3881)
家畜改良増殖小委員会	「家畜改良増殖目標」の見直しについて専門的に調査審議	平成16年4月～17年3月	○	○	○	生産局畜産部畜産振興課(3501-3777)
経営分科会	農業災害補償法の施行に関する重要事項を調査審議	継続的に審議	○	○ (概要)	—	経営局保険課(3502-1320)
農村振興分科会	農村振興に関する施策にかかるものを調査審議	継続的に審議	○	○	—	農村振興局農村政策課(3502-5999)
農業農村整備部会	国際かんがい排水委員会に関する事項及びかんがい排水の改良発達に関する重要事項を調査審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	農村振興局事業計画課(3501-3748)
企画小委員会	農業農村整備の推進に関する基本事項を調査審議	継続的に審議	○	○	—	農村振興局事業計画課(3501-3748)
技術小委員会	土地改良事業計画設計基準及び土地改良施設管理基準の制改定並びに農業農村整備事業の実施に必要な技術的課題に関する事項を調査審議	継続的に審議	○	○	○	農村振興局事業計画課(3501-3748)
国際小委員会	国際かんがい排水委員会の活動に関する事項及び農業農村整備分野の国際協力の推進に関する事項を調査審議	継続的に審議	○	○	—	農村振興局事業計画課(3501-3748)
かび毒のリスク管理検討会	わが国で生産される農作物を汚染する可能性があるかび毒について、リスク管理措置等を検討	平成16年6月～	×	×	—	消費・安全局農産安全管理課(3591-6585)
植物検疫に関する研究会	植物検疫をめぐる情勢の変化に的確に対応するための今後の我が国の植物検疫のあり方について検討	～平成16年5月	○	○ (概要)	○	消費・安全局植物防疫課(3502-3383)
犬等の検疫制度検討会	犬等の検疫制度の見直しについて科学的に検討	必要に応じて招集	—	—	○	消費・安全局衛生管理課国際衛生対策室(3502-8295) 厚生労働省健康局結核感染症課(5253-1111(2384))
牛の月齢判別に関する検討会	米国産牛肉が、20か月齢以下の牛由来であるかどうかを評価するために、枝肉の生理学的月齢を検証することを目的として、枝肉の格付け及び品質属性に関する協議を行う	平成16年11月～	○	○	—	厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課(5253-1111(2455)) 消費・安全局衛生管理課(3502-8295)
高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム検討会	我が国で発生した高病原性鳥インフルエンザの感染経路の究明に関する科学的見地からの分析、検討	平成16年3月～6月	○	○	○	消費・安全局衛生管理課(3502-8206)

審議会等の名称 <sup>注1</sup>	検討内容	開催期間	ホームページ掲載 <sup>注2</sup>			事務局 <sup>注3</sup> (連絡先)	
			会議資料	議事録	報告等		
フードガイド(仮称)検討会	食生活指針を実践に移すため、「何を」「どれだけ」食べたらよいかを具体的に示した「フードガイド(仮称)」の検討	平成16年12月～	○	○	—	厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室(3595-2245) 消費・安全局消費者情報官(5512-)	
消費者等との定例懇談会	食と農の再生プラン、無登録農薬、食の安全と安心のための政策等について消費者等と意見交換を実施	継続的に開催	×	○ (概要)	—	消費・安全局消費者情報官(3502-8504)	
消費者・生産者・食品事業者等との懇談会	「生産者等と消費者の顔の見える関係づくり」のための方策を検討	継続的に開催	○	○ (概要)	—	消費・安全局消費・安全政策課(3591-4963)	
農林物資規格調査会	JAS法の規格の見直し、表示項目等について調査審議	継続的に審議	○	○	—	消費・安全局表示・規格課(3501-3727)	
部会	JAS法の規格の見直し、表示項目等について専門的に検討	継続的に審議	○	○ (概要)	—	消費・安全局表示・規格課(3501-3727)	
総合的病害虫管理(IPM)検討会	推進すべき総合的病害虫管理(IPM)の概念整理及び主要作物別のIPM実践指標策定指針(仮称)の策定等について検討	平成16年11月～	○	○ (概要)	—	消費・安全局植物防疫課(3502-3383)	
食品の表示に関する共同会議 (農林物資規格調査会表示小委員会と薬事・食品衛生審議会 食品衛生審議会食品衛生分科会表示部会食品表示調査会の共同開催)	食品の表示に関する共同会議 (農林物資規格調査会表示小委員会と薬事・食品衛生審議会 食品衛生審議会食品衛生分科会表示部会食品表示調査会の共同開催)	食品衛生法及びJAS法に共通する食品の表示基準全般について調査審議	継続的に審議	○	○ (概要)	○	厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課(3595-2341) 消費・安全局表示・規格課(3501-3727)
コーデックス連絡協議会	コーデックス委員会における主要な検討議題に関する意見交換等	継続的に開催	○	○ (概要)	—	厚生労働省医薬食品局食品安全部企画情報課(5253-1111(2407)) 消費・安全局消費・安全政策課(5512-2291)	
JAS制度のあり方検討会	今後のJAS制度のあり方について調査審議	～平成16年10月	○	○ (概要)	○	消費・安全局表示・規格課(3501-3727)	
食品等の地理的表示の保護に関する専門家会合	食品等の地理的表示の保護に関する技術的な検討	平成16年9月～	○	○ (概要)	—	総合食料局食品産業企画課(3507-3095)	
外食における原産地等の表示に関する検討会	外食における原産地等の表示の内容及びその普及の方法について検討	平成17年3月～	○	○	—	総合食料局食品産業振興課外食産業室(3502-8267)	
生鮮食料品流通情報懇談会	生鮮食料品流通情報の今日的役割等について検討	平成16年3月～平成17年2月	×	○ (概要)	○	大臣官房統計部生産流通消費統計課消費統計室(3502-5947)	
食品容器包装のリサイクルに関する懇談会	容器包装リサイクル制度の見直しに関する意見の整理	平成17年3月～	○	○ (概要)	○	総合食料局食品産業企画課食品環境対策室(3502-)	
国産大豆の安定供給に関する懇談会	国産大豆の安定供給を確保するため、安定的な取引方法のあり方、安定生産と品質改善のあり方について検討	平成16年6月～8月	○	○ (概要)	○	生産局農産振興課(3591-8733)	
鶏の改良増殖目標についての研究会	鶏の改良増殖目標について専門的に検討	平成16年7月～	○	○	—	生産局畜産部畜産振興課(3501-3777)	
家畜の改良増殖目標についての研究会	家畜改良増殖目標について畜種別に専門的に検討	平成16年7月～	○	○	—	生産局畜産部畜産振興課(3501-3777)	
養豚問題懇談会	養豚における担い手施策のあり方、コスト低減方策、品質向上方策等について検討	平成16年8月～	○	○ (概要)	○	生産局畜産部畜産振興課(3501-3777)	

審議会等の名称 <sup>注1</sup>	検討内容	開催期間	ホームページ掲載 <sup>注2</sup>			事務局 <sup>注3</sup> (連絡先)
			会議資料	議事録	報告等	
養鶏問題懇談会	養鶏における担い手施策のあり方、コスト低減方策、品質向上方策等について検討	平成16年9月～	○	○ (概要)	○	生産局畜産部畜産振興課(3501-3777)
乳用種に係る肉用子牛生産者補給金制度の運用の在り方にに関する研究会	乳用種牛肉の位置付け、評価及び販売戦略並びに乳用種の保証基準価格の算定方式の見直しについて検討	平成16年5月～	○	○ (概要)	-	生産局畜産部食肉鶏卵課(3501-3776)
植物新品種の保護に関する研究会	農林水産分野の重要な知的財産である植物の新品種の保護強化について検討	平成16年4月～	○	○ (概要)	○	生産局種苗課(3591-0524)
自家増殖に関する分科会	育成者権の効力の及ぶ範囲の例外としての自家増殖の範囲のあり方について検討	平成16年10月～	○	○ (概要)	○	生産局種苗課(3591-0524)
加工品に関する分科会	加工品に育成者権の効力を拡大するため、改正制度の円滑な導入に必要な方策を検討	平成16年10月～	○	○ (概要)	○	生産局種苗課(3591-0524)
砂糖及びでん粉に関する検討会	砂糖、でん粉及びこれらの原料作物に関する政策のあり方について検討	平成16年8月～	○	○ (概要)	○	生産局特産振興課(3501-3814)
砂糖分科会	砂糖に関する原料作物生産の支援、関連産業合理化、糖価調整制度のあり方について検討	平成16年10月～	○	○ (概要)	○	生産局特産振興課(3501-3814)
でん粉分科会	でん粉に関する原料作物生産の支援、関連産業合理化、価格支持制度等のあり方について検討	平成16年10月～	○	○ (概要)	○	生産局特産振興課(3501-3814)
花き産業振興方針検討会	今後の花き産業振興のための方策について検討	平成16年8月～	○	○ (概要)	○	生産局果樹花き課 花き対策室(3593-6496)
環境と調和のとれた作物生産の確保に関する懇談会	環境と調和の取れた農業生産活動を促進するため、農業者が環境保全に向けて最低限取り組むべき規範の策定について検討	平成16年10月～	○	○ (概要)	-	生産局農産振興課 環境保全型農業対策室(3593-6495)
経営構造対策の在り方に関する研究会	平成17年度以降の経営構造対策のあり方について検討	継続的に審議	○	○ (概要)	○	経営局構造改善課(3501-3768)
生物多様性影響評価検討会総合検討会	遺伝子組換え生物等の第1種使用規程に関する総合的な検討	平成16年1月～	○	○	-	農林水産技術会議 事務局技術安全課(3501-3780) 環境省自然環境局 野生生物課(5521-8344)
食品機能性研究に関する検討会	食品機能性研究の効率的な実施に資するため、実用化方策、医療関係者との連携推進体制等について検討	平成16年6月～8月	×	×	○	農林水産技術会議 事務局研究開発課(3501-0966)
指定試験事業のあり方に関する検討会	指定試験事業の検証を行い、今後より効果的・効率的に推進するための基本的な方向性を検討	平成17年2月～	○	○ (概要)	-	農林水産技術会議 事務局地域研究課(3593-2137)
都市と農山漁村の共生・対流に関するNPO法人との懇談会	都市と農山漁村の共生・対流の一層の推進を図るため、今後の都市部における取組の強化に向けた施策の展開方向についての検討に資するため懇談会を実施	平成16年9月～	×	○ (概要)	-	農村振興局地域振興課(3592-6810)
農業農村整備事業の効率的実施に係る検討会	農業農村整備事業のより一層効率性の高い事業展開を図っていくための方策等の検討	継続的に審議	○	○ (概要)	○	農村振興局計画部 事業計画課(3501-3748)、整備部設計課(3502-8695)、整備部水利整備課(3591-7073)
中山間地域等総合対策検討会	中山間地域等直接支払制度及び中山間地域等総合振興対策にかかる意見の聴取	継続的に審議	○	○ (概要)	○	農村振興局地域振興課(3501-8359)
バイオマス・ニッポン総合戦略推進アドバイザリーグループ	バイオマスの利活用推進に当たり、民間・有識者等から意見を聴取	継続的に審議	○	○	-	大臣官房環境政策課資源循環室(3501-3964)

審議会等の名称 <sup>注1</sup>	検討内容	開催期間	ホームページ掲載 <sup>注2</sup>			事務局 <sup>注3</sup> (連絡先)
			会議資料	議事録	報告等	
野菜政策に関する研究会	野菜の構造改革対策の検証、生産・流通・消費対策、野菜価格安定制度及び需給安定対策の検討	平成16年3月～	○	○ (概要)	○	生産局野菜課 (3501-0984)
農林漁業金融に関する研究会	農林漁業・食品産業金融の現状分析と今後のあり方等について検討	平成16年4月～	○	○	○	経営局金融調整課 (3501-3726)
<b>農業資材審議会</b>						
<b>機械化分科会</b>						
基本方針部会	高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針の進捗状況について検討	継続的に審議	○	○	—	生産局農産振興課 (3591-4958)
検査部会	平成17年度において型式検査を行う農機具の種類、型式検査の主要な実施方法及び基準の改正について検討	継続的に審議	○	○	○ (答申)	生産局農産振興課 (3591-4958)
農薬分科会	農薬使用基準の改正にかかる意見の聴取	継続的に審議	○	○	○ (答申)	消費・安全局農産安全管理課農薬対策室 (3501-3965)
種苗分科会	品種登録制度における農林水産植物の重要な形質及び登録品種等の利用に関する裁定について審議	継続的に審議	○	○	○ (答申)	生産局種苗課 (3592-0305)
飼料分科会	豚肉骨粉の飼料利用、飼料添加物の指定等に関する検討	継続的に審議	○	○	○ (答申)	消費・安全局衛生管理課 (3502-8097)
農業資材審議会農薬分科会特定農薬小委員会及び中央環境審議会土壌農薬部会農薬専門委員会合同会合	特定防除資材(特定農薬)の指定に関する検討	継続的に審議	○	○	—	消費・安全局農産安全管理課農薬対策室 (3501-3965) 環境省環境管理局水環境部土壌環境課農薬環境管理室 (5521-8323)
農業生産資材問題検討会	主要な農業生産資材である肥料、農薬及び農業機械について、生産、流通及び利用の各段階におけるコスト低減方策を検討。	平成16年7月～	○	○ (概要)	○	生産局農産振興課 (3591-4958) 消費・安全局農産安全管理課 (3591-6585)
飼料問題懇談会	今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム(工程表)の審議等	継続的に開催	○	○	—	生産局畜産部畜産振興課 (3591-6745)
<b>薬事・食品衛生審議会</b>						
<b>薬事分科会</b>						
動物用医薬品等部会	動物用医薬品等の基準及び承認の可否その他の動物用医薬品等に関する事項を調査審議	継続的に審議	×	○	—	消費・安全局衛生管理課 (3502-8097)
農林水産省政策評価会及び各局専門部会	政策評価手法の検討、評価の計画、実施の状況、政策への反映その他政策評価の推進上必要な事項の検討	継続的に審議	○	○	—	大臣官房企画評価課 (3502-7134)
独立行政法人評価委員会及び農業分科会、農業技術分科会	農林水産省所管独立行政法人の評価等について調査審議	継続的に審議	○*	○	○ (評価結果)	大臣官房文書課 (3501-3718)

注1) 審議会等の順番については、はじめに食料・農業・農村政策審議会関係の各部会を、その下に、本文 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIIIの記述順に関係すると思われる審議会等を並べた。

注2) ホームページ上に掲載している場合は「○」、掲載していない場合は「×」、掲載すべき資料が存在しない場合は「—」

注3) 省名が書いていない事務局は農林水産省である。

\* 農業分科会においては、掲載していない。